

事業所名

放課後等デイサービス グローアップ

支援プログラム

作成日

令和 6年

10月

1日

法人（事業所）理念		子どもたち、ご家族にとって『もう一つの居場所』を目指して 「いいこと」「いいところ」「いいところ」をたくさん見つけ、一人ひとりの物語の紡ぎ手となれるように寄り添い続けます。		
支援方針		子ども達が安心して過ごし、楽しみに通える場所となるように環境設定や信頼関係を築きながら、一つひとつの成長に目を向けて共に喜び・笑い合える支援を大切にしていきます。		
営業時間		9時 00分 から 17時 30分 （土日祝日休み）	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康で穏やかに過ごすために、手洗いやうがいの徹底 日常生活スキルや社会に必要な生活スキルの獲得 障がい特性に合わせた合理的配慮や時間・空間をわかりやすく、過ごしやすい環境の設定 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な姿勢と運動能力等の向上 ゲームや遊びの中で感覚統合を意識して、楽しみながら発達を促す支援の提供 感覚・認知の特性に考慮した、環境設定 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ご利用児さまが目的を持って行動出来るように見守り、時間やルールを自発的に意識できる環境設定 自己肯定感を高められる場を増やす（達成しやすい目標設定や取り組む姿勢や過程を大切に、称賛する回数を増やす） 振り返りや確認を行い、個々の認知度や理解度に合わせて、説明や支援提供を行う 		
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性や発達に合わせた、言語理解と言葉と体験の結びつきの確認 年齢や場所、人に合わせた言葉選びとコミュニケーションが出来るよう助言や介入を行う 発達段階に合わせた意思表示、特性に沿ったコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の伝達ができる支援を提供 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中で、役割分担やルールを守ることの大切さを知らせ、社会性や安定した人間関係の形成を目的とした支援 将来に向けたソーシャルスキルを各ライフステージ毎に目標を決めて、療育等を個別支援計画に記載し継続的に取り組む 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> LINEを活用し、常に情報共有を行いながら、ご家族の想いに寄り添える環境作り 情報の見える化（記録や連絡帳での日々の発達の共有だけでなく、写真や動画などを活用） 各関係機関との連携を行いながら、様々な視点でご利用児さまの発達へ気づきを促し、成長や支援について共に考え合う関係性を築く 		
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 障害児支援計画に沿った個別支援計画の作成とアセスメント・ニーズ、課題への評価と発達の变化、想いを各関係機関で共有し、ご利用児さまの将来に向けた支援の構築 支援の記録、評価を残し、ライフステージによって変化する環境に合わせて共有する場所作り 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域の公共施設を利用し、社会体験ができる場の提供 福祉・保育・教育・家庭のそれぞれの視点や様子の情報共有の実施 様々な観点からご利用児さまを支える支援、ライフステージに合わせた切れ目のない支援の強化 		
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 月1回の会議にて子どもの成長、障がい特性の理解を目的とした内部研修の実施 支援の振り返りを定期的実施して、新たな支援方法の模索や課題解決に向けて、職員全体での情報共有の実施 虐待防止の観点から、事例検討や基礎知識、支援方法の勉強会を虐待防止委員会を中心に二か月に1回実施 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 夏祭りやクリスマスなど季節に合わせた造形や食育を中心とした行事活動 社会体験や余暇を目的とした外出の実施 音楽療法 		